

- ② 育児資料「すくすく通信」の作成・配布
「すくすく4・5歳」を23,000部作成し、各市町村教育委員会を通して該当する幼児を持つ家庭と、公民館を始めとする関係機関に配布した。
- ③ 家庭教育電話相談「すくすくダイヤル」の開設
ア 相談日 毎週月曜日から金曜日まで
イ 時間 午前9時30分から午後2時まで
ウ 電話番号 024-553-8222
エ 電話相談員
(◎印 推進委員 ○印 すくすく通信編集委員兼任)

氏名	役職名	備考
新家 淳子	家庭教育アドバイザー	◎
成田 由美子	心理判定士	
林 千枝子	家庭教育アドバイザー	
島 貫ノブ	家庭教育ふれあいネットワークカー	
松野内 勢津子	家庭教育ふれあいネットワークカー	○
岡野 淳子	臨床心理士	
佐藤 典子	保健婦	

オ 相談状況 相談件数 300件
カ 相談内容
1位 健康発育
2位 性格行動
3位 性の問題
4位 育児保育

- ④ 家庭教育巡回相談の実施
子育てについて不安や悩みを持つ親等のために、県内4箇所で開催された「子育てセミナー」の会場に、相談員を派遣して直接相談に応じた。
- ⑤ 「子育てセミナー」の開催
子育てをめぐる諸問題の解決を援助するため、多様な学習機会を提供し、家庭と地域の教育力向上に努めた。

期日	会場	参加者
7月8日(火)	下郷町ふれあいセンター	151名
9月5日(金)	白沢村公民館	113名
9月30日(火)	新地町公民館	97名
10月29日(木)	郡山市文化センター	204名

- ⑥ テレビ番組「ちいさな世界」の放映
15分間のカラー番組を福島テレビに製作委託し、平成9年10月から翌年3月まで、日曜日の7時15分から7時30分まで26回放映した。
- ⑦ 学習ビデオ教材の作成
「ちいさな世界」をビデオ教材として編集し、視聴覚ライブラリーの管理により県内に貸し出しを行った。

3 親と子の心を結ぶ家庭再発見推進事業

(1) 事業実施主題

「親子の絆を深め、子どもの主体的に生きる力を育む家庭教育の向上」

(2) 事業内容

① 「家庭教育出前講座」の開催

家庭教育の知識・技術・態度についての学習や情報交換の機会を提供し、「家庭」の再認識や地域のネットワークづくりの推進を図り、家庭の教育力の向上に努めた。

期日	会場	参加者
8月31日(日)	白河市文化センター	171名
9月7日(日)	会津坂下町中央公民館	126名
10月25日(土)	原町市文化センター	119名
12月6日(土)	二本松市福祉センター	167名

② 「家庭再発見フォーラム」の開催

「家庭教育出前講座」における学習や交流の発展・深化を目指した講演・討議・発表を通して、子どもの主体的に生きる力を育むための望ましい家族関係を考え、家庭教育の一層の充実を推進するための学習機会を提供した。

ア 期日・会場 平成9年11月14日(日)
福島市市民会館

イ 参加者 401名

③ メディア利用事業「届ける講座」の実施

日ごろ、家庭教育に関する学習の機会に恵まれない親や、地域・企業・団体で開催される研修・学習会への参加者等に対して、「家庭教育出前講座」や「家庭再発見フォーラム」の様子をビデオにより伝え、学習機会の提供に努めた。

ア 貸出開始 平成10年3月

イ 問合せ・取扱い 各教育事務所、県視聴覚ライブラリー

- ④ 家庭教育資料「家庭教育実践事例集」の作成・配布
県主催の家庭教育関係事業や関係機関・団体等において実施されたものの中から、特徴的で成果を挙げた家庭教育実践事例等を集集・編集し、学習情報・資料として関係機関・団体に配布した。

第6節 視聴覚教育

1 概要

県民の多様化・個別化している学習需要に対応し、かつ、県民が興味深く学習活動を展開して学習効果を高めるための手段として、視聴覚教育の果たす役割は、以前にも増して高まっている。

このため、時代の流れに即応した視聴覚教育への改善・充実を目指し、以下の取組みをしてきた。